

鈴木ひとみ市政報告



ごあいさつ

桜の開花が例年よりも遅くなりましたが、ようやく春めいてきました。

元旦の能登半島地震は衝撃でした。復興して元の生活に戻るには、まだまだ時間がかかりそうです。その後も各地で地震が起き、千葉県東方沖、首都圏直

下型地震の発生も心配されています。

普段いる場所で、家具などが倒れてけがをする危険がないか、改めて見直してみましょう。避難経路が塀の倒壊などによって通れなくなる可能性も考えて確認しておくといいですね。

令和6年3月市議会定例会 一般通告質問から



房南こども園

幼稚園、こども園、 保育園の 今後の在り方について

～社会変化にあわせた保育施設の整備を～

小中学校の再編の計画が進んでいます。幼保連携、公私連携の北条こども園が来年春に開園予定です。

一方で西岬幼稚園はすでに休園、館野幼稚園はこの4月から休園になりました。共働きの家庭が増え、長時間保育の需要が増え、短時間保育の幼稚園は大きく定員割れをしています。

市全体の子育て環境を考え、保育施設も実情に合わせた再編が必要です。



← 館山市学校再編について詳細はこちらから。

小規模特認校について

小規模のメリットを最大限に活かした小規模特認校とは

学校再編の素案で、小規模特認校の設置が提案されています。各地で話し合いが行われた中で、「クラス替えできる規模の学校が望ましい」という保護者も多かった一方、大人数に馴染めない子どもたちのために、「少人数できめ細かな教育を行う学校」も必要ではないかとなりました。小規模特認校は、学区を市内全域とし、少人数の利点を生かして、きめ細やかな学習指導、児童の個性と主体性を大切にした多様性のある学習を目指します。

どのような学校になるかで通わせるかどうか考えたいという保護者もいます。魅力的な学校作りが課題です。

●小規模特認校とは

少人数での教育の良さを生かし、きめ細やかな指導や特色ある教育を行う学校のこと。学区に関係なく市内のどこからでも通学できます。

●館山市教育委員会が目指していること

- ・一人ひとりの学習状況や理解度を的確に把握したうえで行う「きめ細かな学習指導」
- ・自分自身の意見や感想を発表する機会を多く持たせ、「思考力・判断力・表現力」の向上を目指す取り組み
- ・異なる学年での活動や郷土の教育資源、学校周辺の自然環境を活かした体験型学習の充実
- ・小さな学校規模を活かした「機動的かつ多様性のある学習活動」